

# JAしまねびより

2018

# 4

April Vol.25

**特集** 島根のいいもの再発見!! 「安来市 赤江・オーガニックファーム」 やすき地区本部



Naomichi

安来から望む  
春を待つ大山



島根には誇れる農産品がたーっくさん！  
**島根のいいもの再発見!!**  
 直撃・生産者インタビュー！



**【安来市 赤江・オーガニックファーム】**

4月は、やすぎ地区本部。安来市赤江町で、葉物野菜を生産している、赤江・オーガニックファームの代表、岸川勉さんに、お話しをお伺いしてきました。



お話しをお伺いした岸川さん。中島地区の方々への感謝を胸にまっすぐに。

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

**赤江・オーガニックファームを設立した、きっかけを教えてください。**

広島でサラリーマンをしていましたが、平成13年、就農するためにイターンしました。当初から有機栽培に取り組み、平成17年には、県東部のUイターンの新規就農者を中心に組織した「島根おやさい本舗」というグループを設立し、山陰地区をメインに野菜を出荷しています。安来市で就農するメンバーも増加し、出荷量が増加。食の安全・安心の高まりから、有機野菜は県外からの出荷依頼を頂くようになりました。そこで平成27年「赤江・オーガニックファーム」を設立、県外に有機野菜の出荷をはじめました。

**現在の栽培規模など、概要を教えてください。**

グループの生産者5人でハウスの合計が70棟、164アールの面積で栽培しています。品目は小松菜、水菜、ほうれん草、春菊の4種類の葉物野菜、ミニトマトやオクラ



地区内に所狭しと連なるハウス。



ハウス内で育てられた野菜の色がなんとも言えないほど、美しいという印象でした。

などの夏野菜を少量栽培しています。安来市は、就農支援のサポートが充実しており、現在は県の指導農業士として、新規就農者の研修の受け入れや就農支援も行なっています。グループのメンバー全員が、私の農園で研修した後、中島地区で就農したUイターン者です。グループの設立にあたり、各個人が国の有機JAS認証を取得し、大阪や京

都、岡山などに共同出荷しています。

## これまでに苦勞されたことなどありますか？

有機栽培をはじめて16年になります。当初は雑草や害虫などの被害が少なからずあり、苦勞しました。有機栽培の認知度が低く、知人の先駆者に聞いたりしながら、独りでも試行錯誤を繰り返しました。化学肥料や農薬に頼らない「有機」というイメージは、一般的に栽培が大変なイメージを持つ人がいるかもしれません。ただ葉物野菜は、技術体系が確立しているので、失敗はありますが、順調に規模を拡大しています。仮に1棟、ハウスが虫に食べられる被害があっても、年に5〜6回収穫できるので、被害が比較的安く抑えられるのも葉物野菜を選んだ理由です。

## 安来市で就農して感じたことなどありますか？

なによりも、赤江町内の皆さんの積極的な協力のおかげ

です。私のようなUイーターナーを快く迎え入れてくださり、中島地区の広くて平らな土地をこれだけ多く使わせていただけるのは、ハウスで栽培する葉物野菜にとって、規模を確保する上で、大きい支えだと感じています。そのため、メンバー全員が地域との繋がりをとても大事に考えており、地元の記事や集会などに積極的に参加しています。また、やさぎ地区本部と連携し、小中学校の給食用として葉物野菜を出荷しています。JA直売所でも販売をはじめており、県外への出荷がメインですが、地元の皆さんにも、有機野菜を広く知ってもらいたいと思っています。

## グループの今後の抱負や計画など教えてください。

有機JAS認証を受けている農産物は、現在、全体の0.2パーセントしか流通していないといわれています。安全で安心な美味しい有機野菜を多くの方に食べてもらいたい、という想いから、年々規模を拡大しています。今年



は新たに2人の研修生を迎えるなど、積極的に新規就農者

国の有機JAS認証を受けた野菜の需要は徐々に高まりつつあり、まだまだその市場は大きいという。

## 赤江・オーガニックファーム 一口メモ

有機野菜とは、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らず、自然の力で栽培した野菜。国の定める有機JAS認証を取得すると、マークを使用することができ「有機〇〇」や「オーガニック〇〇」など表示することができる。赤江オーガニックファームでは、良質なたい肥で土作りにこだわり、太陽熱を利用した消毒で雑草や病害虫を減らすなど、徹底した管理で有機栽培を行なっている。今後、有機野菜は東京オリンピック・パラリンピックなどをひかえて、日本の安心・安全な農作物として需要が見込まれている。



毎週の定例ミーティングに加え、LINEなどを活用し、情報共有を図りながら、メンバー同士の協力体制を確立している。

を受け入れていきます。グループのメンバーが増え、生産量がまとまることで、収穫状況を踏まえて、出荷量を補完し合うことができます。これにより、大きな市場で安定的に出荷することができます。毎

週1回集まって、誰がどこに出荷するかなどの割り当てを話し合っています。この集まりを、もっとたくさんの方に有機野菜を食べてもらいたいと考えています。

# ／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

## 「担い手ドック」のご紹介



JA島根厚生連では、「担い手の方が健康で農業生産に携われる」ことを目的にTACをはじめとする各地区本部の担当者と連携して、平成26年度から「担い手ドック」に取り組んでいます。

この担い手ドックの特徴は、①農閑期に身近な場所で人間ドックが受診できる、②JAオリジナルで充実した検査内容、③JAしまね農業振興支援事業の助成により安価、④総合病院では半日以上かかるドックが約1時間で終了することであり、受診いただいた担い手の方からは好評を得ています。

担い手ドックを開始した当初は、“ドック”の知名度が低く、TACからも「お受けいただくのに苦労した」と聞いていましたが、現在では受診した方から「これは良い。来年度も予約する」と言った声や「お陰で病気が早期に見つかったわ」などの喜びの声がTACに寄せられています。徐々に担い手の方に浸透しており、4年目となる平成29年度は1,042人と今までで最多の方に受診いただきました。

健康管理維持・増進の第一歩は“健診受診”ですが、平成27年度に行ったアンケート結果から、担い手の約45%の方が毎年健診を「受けていない」ことがわかりました。担い手の方の受診環境はまだ十分とは言えません。

今後ともJA島根厚生連は、JAしまねとともに担い手ドックを通して受診機会を提供することで、担い手の皆さまが元気で活躍いただけるよう島根の農業を支えて参ります。



# JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」を実施しています。今月号より、同事業をご活用頂いている方々の事例を連載いたします。

## 松江市の高橋裕典さん（70）と息子の高橋裕介さん（30） 親子の『ゆうてん農園』をご紹介します。



『ゆうてん農園』は現在、主食用米22ha、飼料用米6ha、WC S用稲5.5ha、野菜0.5ha（キャベツ・白菜・セリ・ブロッコリー）を栽培し水稲中心の農業経営を行っています。

『ゆうてん農園』では平成29年度JAしまね農業振興支援事業によって導入したトラクターを活用し、作業効率の向上を図るとともに、経営規模の拡大、さらには多角的な農業経営の展開を目指しておられます。



このような中、裕介さんは「今後、野菜栽培にも力をいれ、消費者と積極的にコミュニケーションをはかり、ニーズに即した農作物を提供できる生産者になりたい。」と将来への抱負を語っていただきました。

また、裕典さんは「今後、息子には農業経営の多角化に向け、野菜栽培をはじめ、様々な取組に積極的に挑戦してもらいたい。この挑戦と地道な努力が将来の地域農業を守ることに繋がる。」と熱い思いを話していただきました。

（注）WCSとは、稲の実と茎葉を同時に収穫し、発酵させた牛の飼料

## 理事会情報（2月27日開催）

### 協議事項

- ① 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第5回（2月）申請について
- ② 「平成30年1月からの寒波降雪等の災害」に対する農業施設復興対策支援事業要領の設定について
- ③ 島根県地域共同計算監査委員会の委員選出について
- ④ 平成30年度における農業資金の保証料助成について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑦ 島根県常例検査書の回答について
- ⑧ JA全国監査機構による期中改善指示事項（期中監査）に対する回答について
- ⑨ 機構改革によるリスク管理基本方針の一部改正について
- ⑩ 新退職金制度への移行にかかる退職給付債務の取り扱いと計算方法の決定について
- ⑪ 地区本部別損益管理にかかる統一事項の取り扱いについて
- ⑫ 職制規程の一部改正について
- ⑬ 平成30年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑭ 全農からの資産譲受について
- ⑮ 第4回通常総代会の実施および功労者表彰について
- ⑯ 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- ⑰ 平成30年度地域貢献・地域活性化支援事業について
- ⑱ JAしまね福祉事業に関する運営規程の設定・一部改正・廃止について
- ⑲ 平成30年度JAしまね新規採用職員への対応およびJA島根ユースカレッジ「新入職員課程」の実施について
- ⑳ 平成30年度職員採用方針について
- ㉑ 無期転換ルール適用に伴う就業規則の一部改正について
- ㉒ 平成30年度内部監査計画について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

## 雲南

### 高まる食品への関心 講習会で理解深める

雲南農業振興協議会が主催する食品表示・衛生講習会が地区本部管内3カ所で開催。産直会員ら192人が参加し、衛生管理や食品表示法などの理解を深めました。

近年、虫や金属片などさまざまな異物が混入していたというニュースが相次いでおり、消費者はもとより生産者も「安全・安心な食品」への関心を高めています。

講習会では、衛生的な食品の加工や食品表示法に伴う加工品の栄養表示などを、県雲南保健所衛生指導課の今岡愛さんが説明。今岡さんは「多くの人が知り、支え合いながら対応する必要がある」と話しました。

雲南地区本部は年1回、食品の衛生管理や品質向上に向けた講習会を開いています。営農部農産加工課の福田忠課長は「雲南管内の安全安心な商品がお客の下へ届くように、周知を徹底していきたい」と意気込みます。



関心の高い内容に多くの人が訪れました

## 隠岐

### JA女子大学 隠岐キャンパス 「隠岐ジオパーク研修会」を開催

3月24日にJA女子大学隠岐キャンパスの第1回目となる講座として「隠岐ジオパーク研修会」を実施しました。ジオパークとは世界的に貴重な地形・地質や美しい自然環境を有し、またそれらをうまく利用した人々の暮らしや文化・歴史があることが条件で認定されるものであり、平成30年1月に再認定を受けたところです。隠岐に暮らしながらも、案外ジオパークを知らない、触れることが少ないということもあり、この研修会での学びを通して、地元の魅力を再発見できればとの思いで企画いたしました。当日は、天候にも恵まれ、実際に自然・文化・歴史がある場所へジオパークガイドの案内のもと巡り、地元の魅力を改めて知ることが出来ました。

JA女子大学隠岐キャンパスでは、今後概ね2ヵ月ごとに講座等を開催することとしています。



## くにびき

### くにびき農業法人定期総会開催

くにびき農業法人会（岸本定朝会長）は3月8日、松江エクセルホテル東急で「第7回定期総会」を開催しました。

当日はくにびき管内で組織する16法人の代表者と関係機関から40名が出席。冒頭、岸本会長から「現在、農政の転換期であり、農業法人にとって厳しい状況が続いている。互いに情報を共有し、より良い地域農業を実現していきたい」と挨拶がありました。続いて、新規に加入した農事組合法人林本郷の松浦久年代表理事が今後の抱負を述べました。

総会では、農事組合法人佐々布農産の三島進さんを議長に選任し、今年度の活動報告や来年度の活動計画と収支計画などについて全議案を承認しました。

また、役員改選もあり、会長、副会長がいずれも再任。監事には農事組合法人やわたファームの青砥忠一代表理事組合長を新たに選任。青砥さんは「地域農業の活性化を目指し、大役を果たせるよう努力したい」と力強く抱負を述べました。

来年度の活動計画では、米の品質向上を図るため研修会や会員間の連携強化を目的とする意見交換会を行う予定です。

くにびき農業法人会（敬省略）

- 【会長】 岸本 定朝（再任）
- 【副会長】 多久和輝男（再任）
- 【委員】 勝田 達雄（再任）
- 【委員】 吉岡 雅裕（再任）
- 【監事】 田中 裕司（再任）
- 【監事】 青砥 忠一（新任）



挨拶をする岸本会長

## やすぎ

### 春の彼岸花市開催

JALしまねやすぎ地区本部は3月16日からの3日間、同地区本部管内にあるグリーンセンター（農産物直売所）2店舗となかうみ菜彩館で「彼岸花市」を開催しました。同イベントは毎年開催している直売所の一大イベントであり、管内の農家が栽培した色鮮やかな花を中心に新鮮な野菜や果物なども豊富に揃えました。

各店舗では、定番である小菊やストック、しびきなどの花木が店先に並び、開店から多くの買い物客で賑わいました。来店客は「きれいな花がたくさんあって選ぶのが大変だわ」と笑顔で話されました。



## 女性部から図書カード贈呈

3月5日、JAしまね斐川女性部は、町内の西野幼稚園を訪問し、図書カードを贈呈しました。この活動は、安心して暮らせる住みよい地域社会づくりを目指す女性部活動の一環として毎年行っているもので、図書カードは、昨年のJA祭りで行われたチャリティーバザーでの収益金の一部から購入したものです。飯塚順子部長から園児たちに「みなさんや、今度新しく入ってくるお友達にもたくさん本を読んでもらえると嬉しいです」と手渡され、お礼に年長組の園児たちが歌を披露してくれるなど、大変賑やかな贈呈式となりました。毎年、町内12箇所の幼稚園・保育園を3箇所ずつ訪問しており、この日は中部幼稚園と出東幼稚園にも同様に図書カードを贈呈しました。



図書カードを園児に手渡す飯塚順子部長

## 隠岐家畜市場開催

隠岐では、牛馬の飼養頭数と地理的な面から島前の3島と島後の1島それぞれに家畜市場が設けられていて、隠岐市場は、春（3月）・夏（7月）・秋（11月）の年3回開催され、島後を振り出しに連続3日間をかけ全市場を巡回します。

今春の市場は、寒気に伴う大風でフェリーの欠航が危惧されましたが、予定どおり3月6～8日にかけて無事に開催することが出来ました。当地区本部からは365頭の子牛が上場され、平均価格は雌で553千円、雄で559千円、去勢で591千円、総平均で576千円と、残念ながら前回秋市場から31千円の下げとなりました。その要因として、上場日令の大きなバラツキ、不順な天候、上場頭数減、これに伴う購買者の減少などが考えられますが、放牧で育った隠岐牛の特徴である、肢蹄がしっかりした個体が多く見られましたので、今後に大きな期待が持てると実感しました。

幸いに、新規就農者を含め増頭意欲が強く、29年度の農協有家畜導入事業の利用頭数が50頭に達し、地区本部内の繁殖牛飼養頭数も増加しています。

今夏市場から、当地区本部最大の西ノ島町の家畜市場が「落成初市場」となるので、多くの関係者にご来場いただき、活況のある競り市場となることを期待しています。



## 長久小で出前講座 『箱寿司』作り体験

大田市立長久小学校の5年生19人が3月2日、大田市の伝統料理「箱寿司」の作り方を学びました。

講師に、JAしまね石見銀山女性部長久支部の森脇岸江支部長、他5名を迎え、児童は酢飯、前日に作った錦糸卵などの材料を木枠に詰め、皆で切り分けました。

同校では、学習の一環として地元の米生産者の協力により、田植えや稲刈りなど米作りについて学んでおり、その学習の仕上げとして、同女性部による箱寿司作りの出前講座を毎年しています。児童からは「お米を一から作って大変だったけど、自分達で作ったお米を使って料理ができて良かった」「今まで作った料理の中で最高においしい」など感想を話しました。

箱寿司が完成すると、同女性部が用意していた「うどん豆腐」と一緒に食べました。箱寿司が出来上がるまでの間では、森脇支部長が雑誌「ちゃぐりん」を用いて児童にご飯をしっかりと食べることの大切さを伝えました。



同女性部の指導のもと寿司を取り出す児童

## 農業情報イベント ミニアグリミーティング開催

JAしまね出雲地区本部は3月10日と11日の両日、同地区本部の生産資材課江田倉庫で農業情報イベント「ミニアグリミーティング」を開催しました。種苗・肥料会社など約20ブースで商品展示、農業技術紹介を行ったほか、栄養と美味しさの両立で注目を集める「金芽米」の試食販売も実施。2日間で約400人が来場しました。

このイベントは倉庫内のスペース活用で平成28年から開催しています。例年会場の一角でセミナーも開催しており、今回は空動扇によるハウス内の環境改善や、優良系統デラウェアのジベレリン処理といった新技術についての講習や、春野菜の栽培講習、野菜の飾り切りの体験など、12講座を実施しました。同地区本部生産資材課の片寄厚課長は「必要な情報は人それぞれ。多種多様な講座を企画したので興味があるものを見てもらいたい」と話しました。



試食販売を行った金芽米ブース

## 西いわみ

### 特産ユズ果汁を使ったカステラを発売しました

益田市特産のユズの栽培を手掛ける美都町柚子生産者組合（組合長山根哲朗）とJAしまね西いわみ地区本部（本部長田村清己）は3月2日、ユズ果汁を使った新商品のカステラ「美都ゆずカステラ」の完成を山本浩章益田市長に報告しました。

カステラはJA地区本部、(株)和欄西葡、三菱食品(株)の三社が共同開発し、三菱食品(株)が展開する菓子ブランド「M'colla」の新商品として販売します。ユズの特徴である「香り」と「色」を生かすため100%ストレート果汁を使い無香料、無着色で仕上げました。

原料の果汁は種をつぶさず搾る手搾りに近い製法で搾ったもので、苦みが少なく酸味も強すぎず風味が良いといわれています。

報告会では、完成したカステラを山本市長が試食し、「食べると口の中に香りが広がり、大変おいしい。益田の新しいお土産にぴったりです」と喜ばれました。

田村本部長は「今後も生産者が喜べる商品づくりを進めていきたい」と意気込みを語りました。

カステラは3月10日より地域限定で先行販売し、24日以降順次販売エリアを拡大していきます。



カステラの試食後に田村本部長と言葉を交わす山本益田市長

## 本店

### 第8回 地域連携フォーラム開催

「みんなで安心して暮らせる地域づくりをめざして」をテーマとした、第8回地域連携フォーラムが3月8日、くにびき宮農センターを会場に開催し、集まった約250人が、各団体の実践報告や湯浅誠氏（社会活動家／法政大学教授）の特別講演を熱心に聴講しました。

「なないろ食堂」（いわゆる子ども食堂）を運営している吉川郁子事務局長は、実践から見てきたこととして「課題はあるが、参加者、ボランティア双方にとって、多様な人との関わりの場やほっとできる場になりつつある」と報告。この他、松江市古志原公民館長竹谷強氏が「夏休み寺子屋」を、生きづらさを抱える人々を支える地域づくりをめざす、すまいるーねっと代表後藤幸江氏が「農福連携」について、それぞれ報告しました。

また、湯浅誠氏は、子どもの貧困と地域づくりをテーマに「ボランティアとして、居るだけ支援という形もある。多様な人々とのつながりが重要」と参加者の実践に期待しました。

このフォーラムは、同じ地域に住み活動している仲間が、学習しながら実践し、つながることを目的に集まった「あったか地域づくり協議会」（構成団体：松江市社会福祉協議会、JAしまね、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、地域つながりセンター等）が主催しました。



## 島根おおち

### 担い手人間ドックを実施

島根おおち地区本部では2月27日から3月1日までの3日間、地区本部管内の担い手農家を対象に、JA島根厚生連と連携した巡回人間ドックを実施しました。

邑南町矢上の矢上交流センターと、美郷町久保の邑智支店営農生活課の2か所で実施し、計68名の担い手農家の方が健診を受けられました。

この健診は通常の巡回人間ドックの項目に「胸部CT検診」をセットした本格的な検査で、様々な検査を1時間半程度で済ませることができ、JAから助成をすることで、通常の1/3程度の受診料で受診できるため、毎年多くの方に受診頂いています。

健診を受けられた方からは「助かっている」、「来年も受診したい」との声を頂いており、農家の皆様が安心して営農に取り組めるよう健康管理のお手伝いを行ってまいります。



## いわみ中央

### 産直加工品研修会で売れる加工品づくりと食品表示の基礎知識を学ぶ！

いわみ中央産直振興協議会（会長 松本昭二、産直会員979名）は、3月13日いわみ中央地区本部ふれあいホールにて産直加工品研修会を開催し関係機関を含む79名が参加しました。

研修会は、2部構成で行い、1部では、島根県6次産業化アドバイザーの土井小百合氏（松江市）による、「食卓に愛を！」～生産者目線から消費者目線へ～と題して講演をいただきました。

2部では、講師に浜田保健所環境衛生部の石橋技師と石原主任技師に食品表示の基礎知識研修として、「加工品の食品表示」の演題で講義を受けました。

講義の中では、食品表示法施行前の旧基準の表示が認められる経過措置期間も平成32年3月31日までとなっているため、新しい表示法を学びました。

講義終了後の質疑応答では、石橋技師に新しい加工品などの表示についての疑問を質問され、生産者としての産直への出荷意欲を強く感じた有意義な研修会となりました。









# FA・LAのご紹介

ファイナンシャルアドバイザー

ライフアドバイザー

J Aの信用・共済事業において、皆さまとJ Aの間をつなぐ役割を担うのが  
渉外担当者（FAまたはLA）と呼ばれるアドバイザーです。

各地区の担当者が「J Aの顔」としてご自宅等に訪問し、共済、貯金、年金、  
各種ローン、相続などのご相談をお伺いし、皆さまのお役に立てるように  
日々活動しておりますのでよろしくお願いいたします。

保存版



取りはずして  
保管できます！

## 大東地区

# FA

富山千佳子係長



藤原 順子係長



# LA

神庭 真志



森山 真也係長



石原 弘子



本多 一成



須田 佳吾



長妻 北斗



大東支店 ☎0854-43-2611

## 加茂地区

# FA

嘉本 妙



# LA

杉原 史浩



竹下 祐輔



横山 丈訓係長



加茂支店 ☎0854-49-7011

## 木次・三刀屋地区

# FA

岡田 朋子



坂本 紀子係長



藤原 洋介



# LA

多々納 啓志



藤本 卓郎



内田 慎二係長



藤原 祐一係長



石飛 裕子



案田 孝則



藤原 加珠美



小林 慎一係長



雲南さくら支店 ☎0854-42-8201 10

仁多地区

F A



荒木 俊昭

L A

山根 洋二



眞田 大志



藤原 圭子



仁多支店 ☎0854-54-1331

横田地区

F A

長谷川 弘典



土井 直人



L A

松崎 敦



稲田 一貴



松崎 智樹係長



横田支店 ☎0854-52-1211

地区版

吉田地区

石橋 隆幸係長



掛合地区

藤原 健一



早水 怜



頓原地区

藤原 愛沙



赤来地区

升本 浩司係長



星野 悠



雲南吉田支店  
☎0854-74-0131

掛合支店 ☎0854-62-0085

頓原支店  
☎0854-72-0201

赤来支店 ☎0854-76-2711

Tとことん A会って Cコミュニケーション  
担い手とJAをつなぐパイプ役  
TACのご紹介

地域農業の担い手とJAを結ぶ懸け橋となる専任の担当者がTACです。集落営農組織や認定農業者、農業法人で水田経営を主体に農業を営んでいる担い手へ、3人のTACが訪問しています。訪問で得た情報をもとに事業提案や土壌分析、集落営農の法人化など多岐に渡って活動していますのでよろしくお願いいたします。

大東・加茂・木次  
三刀屋地区  
山田 光俊



吉田・掛合  
頓原・赤来地区  
新田 大治係長



仁多・横田地区  
久井 和徳





# ふれあい ニュース

雲南管内の  
旬な情報をお届け!

UNNAN  
FUREAI  
NEWS

UNNAN  
FUREAI  
NEWS

## 01 喜び感じて生きがいに ブドウ生産で活性化

飯南町の飯南高原ぶどう生産組合(石田和久組合長)は、平成16年にブドウ生産を志した地元有志が集まり、研究会を立ち上げたことがきっかけでブドウ生産に取り組み始め、現在38人のメンバーで活動しています。

主力品種はピオーネで、シャインマスカットや翠峰、お盆の時期には紅巴拉ードを産直やAコープなどに出荷しています。また、地元洋菓子店などにスイーツの原料として売り込むなど、販路の拡大に取り組みブランド力の強化を図っています。

新規栽培者の育成にも積極的に、生育段階に合わせた講習会や他産地への視察などに取り組んでいます。石田組合長は



▲11月に行われた剪定講習会の様子

「お客さんには身近に美味しい果物があることを知って欲しい。また生産者さんには、身近な人に食べてもらおう喜びやブドウに親しみを持つてもらいたい、生きがいとなるようにしていきたい」と意気込みます。

UNNAN  
FUREAI  
NEWS

## 02

### 事故防止に役立てて 中学校に夜光反射材贈呈

J Aしまね、J A共済連島根、県農協共済福祉事業団が県内の中学校に夜光反射材を寄贈しました。J Aグループは平成3年からこの活動に取り組んでおり、今年は反射タスキ3700本、自転車用夜光反射テープ5000個を県内中学校92校の新1年生に向けて用意しました。

3月23日には、雲南市立木次

中学校で贈呈式が行われ、雲南地区本部の竹下克美副本部長が「交通事故防止に役立ててほしい」と挨拶。飯塚良治校長に趣意書を、生活委員長の大森夏子さんと副委員長の目黒まなとさんに夜光反射材を手渡しました。受け取った大森さんは「大切に使い、事故のないようにしていきたい」とお礼を述べました。



▲右から飯塚校長、大森さん、目黒さん、竹下副本部長

UNNAN  
FUREAI  
NEWS

## 03

### トウガラシ栽培説明会 産地拡大を目指して

雲南地区本部はスパイスメーカーとの契約によるトウガラシ栽培に取り組んでいます。3月28日には今年度に向けた栽培説明会を開催。昨年度の反省と新たな出荷基準及び栽培管理について説明しました。

管内のトウガラシは赤みが強く、辛みとコクが特徴。スパイスメーカーとの協議の結果、今年度は生産者の栽培意欲の向上と産地の拡大を目指して、取り扱い価

格の引き上げなどを行いました。奥出雲唐辛子生産組合の澤田透組合長は「作業効率の改善が見込め、更に良質なトウガラシ栽培へつながるのでは」と期待しています。

営農部の岡野武彦職員は「安定的な収量が確保できる体制を構築し、産地化を目指したい」と話し、同地区本部は3ヘクタールを目標に普及活動に取り組み予定です。



▲新たな出荷基準について説明を受ける生産者

## 04 受検数全量合格の快挙 種子生産への意欲高める

島根県農業振興協会と島根県水稲採種組合協議会は3月23日、出雲市斐川町で平成29年度島根県水稲採種組合リーダー研修会を開きました。平成29年度の水稲採種は、島根県初の受検数全量合格を達成。研修会では、品質向上対策などについて講義を受け、更なる優良種子生産へ向けて意欲を高めました。

研修後には、活動が顕著だった生産者や組合の表彰が行われ、圃場管理の部では飯南町水稲採種組合(前田祥宏組合長)が2年

連続で県知事表彰を、生産物の部では同組合の前田祥宏さんが最優秀賞を受賞しました。優秀賞には吉田町の山本重明さん、飯南町の鹿田保生さん、松江市鹿島町の安立学さん、吉田町の農事組合法人そぎの松島安秀さんが選ばれました。

受賞した前田さんは「種子生産者の意欲と技術改善への努力、徹底した圃場管理が結果を残した。島根の米質向上のため優良種子の生産に取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

連続で県知事表彰を、生産物の部では同組合の前田祥宏さんが最優秀賞を受賞しました。優秀賞には吉田町の山本重明さん、飯南町の鹿田保生さん、松江市鹿島町の安立学さん、吉田町の農事組合法人そぎの松島安秀さんが選ばれました。



▲左から山本さん、飯南町水稲採種組合の前田組合長、岸副組合長、三島支部長、鹿田さん、松島さん

## 06 身近にJA感じて欲しい 支店企画の講習会開催

雲南地区本部の雲南さくら支店は3月9日、春まき野菜の栽培講習会を開きました。地域住民37人が参加し、畑の準備から果菜類の定植や栽培管理などを学びました。

参加者は「支店で講習会を受けられて嬉しい。色々なものを企画して欲しい」と笑顔で話し、同支店の大島久光支店長は「JAをより身近に感じてもらう」と企画している。沢山のお

お客様が訪れる心安い支店を目指していきたい」と話します。



▲野菜作りに熱心な方が集まり、質問も積極的に行われました

## 05 卒業旅行で東京満喫 観光楽しみ思い出づくり

雲南地区本部は3月25日から3日間、小学6年生向けのツアー企画「東京夢紀行」を開催しました。

今年は管内から27人が参加。東京、ディズニーランドや東京スカイツリーなどを観光しました。友達との輪も広がり、楽しく思い出に残る3日間を過ごしました。

■ご参加にはJA定期積金「東京夢紀行」がおススメ!

(例)4年生時、積立て開始の場合:「2,000円/月」で旅行代金をご準備することが可能です。詳しくは、最寄りのJA窓口までお問い合わせください。



▲東京ディズニーランドで記念撮影しました

## 07 管内小学校へ教育本贈呈

雲南地区本部は管内3か所の教育委員会に補助教材として「農業とわたしたちのくらし」を贈呈。3月19日には同地区本部の竹下克美副本部長が雲南市教育委員会の景山明教育長へ教材を手渡しました。

景山教育長は「農は地域、ひいては日本の基盤。教育の場で活用し、子ども達の理解を深めていきたい」と感謝を述べました。



▲景山教育長(左)へ教材を手渡す竹下副本部長

直売所へ  
行こう!!

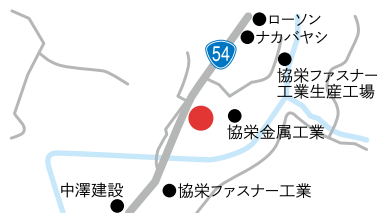
## グリーン掛合



- 1.平成8年から運営を始め、平成14年に今の施設が建ちました
- 2.3.わさび菜や高菜などの葉物、山菜や原木しいたげが並び、春らしい売り場となっていました
- 4.5.農産物を囲むように、地元の陶芸クラブの作品や手芸品がズラリと並びます

## 特色ある商品が並び ファンに愛される直売所

54号線沿いの道の駅「掛合の里」駐車場内にある直売所「グリーン掛合」は、掛合町内の生産者を中心とした掛合町青空市協議会(藤原隆行代表)が出荷しています。新鮮な野菜はもちろん、農産加工品や手芸品、陶芸品など特色ある商品が並んでおり、町内外から沢山のファンが訪れる直売所です。



## グリーン掛合

- TEL 0854-62-9813
- ④雲南市掛合町掛合1800-2  
(道の駅掛合の里駐車場内)
- ⑤ [1月~2月] 9:00~13:00  
[3月~12月] 9:00~16:00  
積雪などにより休業・営業時間の変更⑥
- ⑥ 不定休

Green Kakeya



水菜のシーズンが終わり  
米や畑の準備を始めます。

各直売所に出品されている生産者の方に  
スポットを当ててご紹介します!

# 農アグリ

## 農ライフ

No-Agri No-Life (第13回)

雲南市掛合町

長崎 勉さん(71)  
なが さき つとむ  
和子さん(68)  
かず こ



- |   |   |
|---|---|
| 1 |   |
| 2 | 3 |
1. 勉さんは「そば粉は2つのふるい目を用意している。0.2ミリは練りやすさが良くて、0.3ミリは風味の良さが抜群でうまい。是非使ってみて」と話します
  2. 焙煎した小麦。洗い、乾燥、焙煎の工程を経てから製粉しはったい粉にしており、香ばしく、素朴な味わいが楽しめます。和子さんは「焙煎作業は手間と時間がかかるけど、手は抜けない。ラジオが長仕事のおともかな」と笑顔で話します
  3. 可愛らしいステッカーが目印。そばや小麦は無農薬で栽培しており、衛生管理はもちろん、より安全で安心な農産物の出荷を目指しています

## お客さん目線のモノ作りで 安心届けていきたい

長崎さんご夫妻は、勉さんの定年退職をきっかけとして本格的に農業に取り組み始めました。幼少の頃から両親の畑仕事を手伝ううちに「自分も百姓になりたい」という思いが芽生え「長年の夢がようやく叶った」と笑顔で話します。

現在は6.5ヘクタールの圃場で米や小麦、果菜類を育てており、年間を通して米粉や大豆粉、そば粉、だんご粉、はったい粉などの加工品を出荷しています。特に「はったい粉は昔懐かしい母の味。勉さんが子供の頃は贅沢なお菓子も少なく、はったい粉に湯と砂糖を入れて練ったものを兄弟で囲んでよく食べたそうです。

勉さんは「お客さんの立場になったモノ作りを意識している。安心して食べられる商品を手ごろな価格で皆さんに届けていきたい」と話してくれました。

うんなん  
女子力

掲示板

JAしまね雲南女性部の活動を中心に、  
「女子力」あふれる楽しい話題をお届けします。

JA女性部は、昭和28年に、農村女性特有の課題を解決するために設立されたものです。  
JA女性部の活動に賛同される方は、どなたでも(農業を営んでいなくても)加入できます!!  
あなたも地域の仲間と一緒に活動してみませんか。

## 女性部 掲示板

## 女性大学院「華凜」第4回講座

## そしてさらに素敵な女性を目指して

と き/3月19日(月) ところ/雲南地区本部

第4回講座では、現代礼法研究家 園山明生子氏をお招きし、華凜開校記念講演会を行いました。きれいに見える所作や立ち居振舞い等、大人として、女性として、知っ



笑顔も振舞いもとても素敵な園山先生

ておきたいことをとても楽しく分かりやすく、気品あふれる優しい口調で教えてくださいました。受講生は、真剣にメモを取りながら話を聞き、あっという間の2時間を過ごしました。

講座後、「先生のお話を伺い改めて作法の大切さを実感した。日々の生活の中で今日のお話を思い出し、先生のように素敵な女性を目指したい」と受講生を代表して高橋美佐子さんが感想を述べました。

## 雲南女性部

## 支部間交流会

と き/3月4日(日) ところ/雲南地区本部



僅差でゴール!!

雲南女性部では3月4日、支部間交流会を開催し、地区本部役員や総務部長らを含め約100人が参加しました。支部を越えた混合4チームで行うミニ運動会では、競技は4種目と少なめですが全員が競技と応援に夢中になりました。競技の最後には全員で輪になりフォークダンスを踊りました。大坂佐久子実行委員長は「皆さんの楽しそうな笑顔を見られて実行委員一同安堵した、来年も逢いましょう」と締めくくりました。

## JA女子大掲示板 3月の女子大日誌

## 卒業式・謝恩会

と き/3月7日(水) ところ/ホテル玉泉

ブレディ第7期20名はこの日、卒業を迎えました。同校コーディネーターの白築純さんは「この雲南の地にしっかり根をはり、つながりをもってほしい。これからも学びを力にし、何より健康に留意し、自分自身を大事にしてほしい」と学生たちにエールを送りました。卒業生を代表して、中嶋寛子さんは「一年を振り返ると様々なことを思い出す。個人ではできない沢山のことを学べた思い出深い一年になった。感謝している」と



JA女子大雲南校とは? 多分野にわたる講座を受講することで、やりたいことを見つけ、新しい仲間を作っていく場所です。

謝辞を述べました。卒業式の後は実行委員による謝恩会。これまでの活動をまとめたスライドショーやゲームなどを楽しみました。そして最後には、今年度の活動で、みんなで作詞をしたブレディソングの合唱と、ダンスで締めくくりました。これまでの出会いを大切にますます素敵な女性となつて活躍されることを心より願っています。



経済部より



シロアリ無料調査実施中!!

お客様の大切な財産をお守りいたします

こんなお宅は要注意!

- 建物の周囲、庭先に古材がある家
- 庭先でシロアリを見た家
- 雨漏り・トイが傷んでいる家
- 羽アリが何匹か舞い込んだ家
- 近くに山がある家



私たちが伺います (株)コダマサイエンス社員



石川 由之



古川 秀信



峯山 和之

JALまね雲南地区本部 経済部

お問い合わせ先 ☎0854-42-9133

取扱業者 (株)コダマサイエンス 松江営業所  
松江市西島2-8-23 ☎0852-26-6757

グリーンセンターだより

コナギ・イボクサにお困りなら!!

水稲用一発処理除草剤

新発売

ジェイフレンド®

1キロ粒剤・ジャンボ

特長

- ① 1キロ粒剤は田植同時処理OK  
(ジャンボは田植え5日後からの登録)
- ② ノビエはもちろん、コナギやイボクサなどの主要雑草にも効果を発揮
- ③ 直播水稲登録有り  
(稲1葉期~ノビエ2.5葉期までの登録)

問題雑草に  
速く・長く・効く



粒剤(10アール規格)  
3,109円(税込)



ジャンボ(10アール規格)  
3,403円(税込)

お求めはお近くのグリーンセンターへ!!

ATM一時休止のお知らせ

JABANKの全国統一電算システムの更改にともない、誠に勝手ながらATM・JANETバンク等のサービスを一時休止させて頂きます。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
平成30年5月4日(金 祝日)



雲南すずらん福祉センターだより

◆ヘルパー定例会◆

◎と き / 5月9日(水)9時~13時

◎と ころ / 雲南すずらん福祉センター

2階会議室

◎内 容 / 介護職員向け

「感染症について」の勉強会

◆訪問介護員(ヘルパー)の募集◆

◎資 格 / 初任者研修以上、介護福祉士(研修制度あります)

◎勤務場所 / 雲南すずらん福祉センター

※その他施設介護職員の募集も行っております。

◎ご相談お問い合わせは: 雲南すずらん

福祉センター ☎0854-42-9120

新入職員紹介

平成30年4月1日に入組した新入職員を紹介します。今後、1カ月間の研修を経て、各部署へ配属になる予定です。

◎失敗を恐れず、地域の方から信頼されるよう頑張ります(田部里奈・大東町出身)

◎元氣とやる気を忘れず一杯頑張ります!(藤原一樹・木次町出身)

◎地域の皆さまのお役に立てるよう一生懸命頑張ります(内田達也・奥出雲町出身)



(左から)田部・藤原・内田職員

●新規採用(4月1日付) ※全て企画総務部付  
▼田部里奈 ▼藤原一樹 ▼内田達也  
●依願退職(3月31日付) ▼安部亮紀(金融共済部共済課) ▼丹波美樹(掛合支店係長) ▼山崎美恵(頓原支店)  
※( )内は旧部署

地区版



年金相談会と  
楽しい  
暮らしの話



## PENSION INTRODUCTION CAMPAIGN 年金ご紹介 キャンペーン

平成30年4月2日(月) → 平成31年3月29日(金)

ご紹介された方が、当JAへ年金振込をご指定されたことを確認できた場合、ご紹介いただいた方へ【商品券1,000円分】をプレゼント!

申込み・お問合わせは、各支店までお気軽に

## 年金についてのご相談はJAで! 年金相談会のご案内

無料

- 大東支店  
5月24日(木) 10:00~15:00
- 雲南さくら支店  
5月24日(木) 10:00~15:00
- 加茂支店  
5月26日(土) 9:00~15:00
- 雲南吉田支店  
5月29日(火) 15:00~19:00

◎お一人ひとりの相談会です。できるだけご予約下さい。  
◎お問い合わせは、各支店窓口までお気軽にどうぞ。

# 人間ドック

管内にお住まいのみなさまを対象に  
下記の検診を実施いたします。

申込締切  
5月25日(金)

日程	場所	実施検診
6月25日(月)	雲南地区本部	人間ドック・胸部CT検診・マンモグラフィ乳がん検診
6月26日(火)	雲南地区本部	人間ドック

◎申込は先着順で申し受けます(時間予約制)

■人間ドック 20,000円 | 各市町村の健診適用の取り扱い対象者はさらに助成があります。

●担い手のみなさんへ

上記人間ドックとは別に本年度も担い手人間ドックを計画しています。

赤来支店	仁多支店	雲南地区本部
平成30年11月20日(火)	平成30年11月21日(水)	平成30年11月22日(木) 平成31年1月10日(木)・1月11日(金)

担い手のみなさんはこちらの機会をご利用ください。

■胸部CT検診 4,700円 | 6月25日(月)のみ開催 ◎40歳以上の方対象

●奥出雲町民の方はさらに安価で受診できます!

10月18日(木) 仁多支店 で実施予定です。

(但し、H30年度胸部CT検診を受診した方、もしくは受診申込を済ませている方は除く)

■マンモグラフィ乳がん検診 | 6月25日(月)のみ開催

●2方向40歳代 5,800円 ●1方向50歳以上 3,700円

●各市町の定める対象者基準に合致する方は下記の金額で受診できます。

住民登録住所	金額	条件
奥出雲町	2方向 1,500円	40~49歳
	1方向 1,000円	50歳以上
	無料	70歳以上・生活保護 無料クーポン提示者
雲南市	2方向 1,500円	40~49歳
	1方向 1,000円	50歳以上
	無料	70歳以上・生活保護 無料クーポン提示者
飯南町	2方向 600円	30~49歳
	1方向 600円	50歳以上
	無料	70歳以上

H29年度(H29.4~H30.3まで)未受診  
H29年度(H29.4~H30.3まで)未受診  
毎年受診可能  
無料クーポン対象者は後日、クーポン券と領収書を役場に提出すると返金があります。

●奥出雲町民の方は、9月4日(火)仁多支店でも実施予定です。

※助成金の額は、検診日までに変更になる場合があります。

★検診当日に「JAしまね 総合ポイントカード」をご提示いただくと、お客様のポイントに、人間ドック120ポイント、胸部CT検診・乳がん検診20ポイントが付与されます。

●お問い合わせ…ふれあい課(TEL.0854-42-9053)

●お申込み方法…各支店窓口にある申込書に記入し、ご提出いただくか FAX(0854-42-9100)でふれあい課まで送ってください。

5月の外勤日 16(水) 17(木) 18(金)

※支店によっては変更する場合があります。詳しくはお近くのJA窓口までお問合せ下さい。

## ローン金利

商品	金利
住宅ローン(保証料込・当初15年固定)	0.85%

4月10日現在  
※JAではお子様の人数に応じて金利引下げを実施しております。その他、条件を満たした方はギフトカードが貰えるキャンペーンがあります。

商品	初回の金利
マイカーローン	固定型 1.45%
	変動型 1.40%
カードローン	変動型 7.10%
住宅ローン利用者向けカードローン	変動型 4.50%

4月1日現在  
※上記の金利は、他の引下げ項目も含め最大引下時の金利です。その他、様々な内容があります。詳しくはお近くのJA窓口まで。

## ●子牛市場成績表

### 中央「反落」の相場展開

地区名	種別	取引頭数	最高価格	最低価格	平均金額	平均体重	キロ単価
雲南地区本部	雌	36	925,560	360,720	634,500	271	2,344
	去	53	980,640	363,960	792,007	294	2,697
中央市場	雌	120	1,321,920	340,200	651,105	272	2,396
	雄	0	0	0	0	0	0
	去	149	1,112,400	345,600	790,161	291	2,712

平成30年3月の全国主要子牛市場平均価格は雌715,372円(前月比99%)、去勢839,083円(前月比100%)、計785,097円(前月比100%)、計785,097円(前月比100%)でもちあいの取引となっています。

## 畜産市況 3月



# 栄養豊か 花も楽しめる オクラ

板木技術士事務所 ● 板木利隆



夏を越して晩秋まで果実（莢果）を取り続けることができ、フヨウに似た黄色い花は観賞用としてもめでられ、家庭菜園や庭先、プランター栽培共にお勧めです。アオイに似た花は観賞価値もあり、秋遅くまで咲き続けます。花も実もある重宝な野菜といえます。

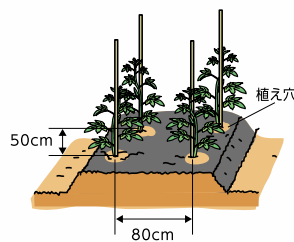
独特の粘りがあり、夏のスタミナ補給にうってつけの野菜として知られています。食べ方は刻んで生のままでだけでなく、ゆでたり炒めたり、サラダやてんぷら、みそ漬け、かす漬けにと、使い道が広いのも魅力です。

高温性で昼は25～30度、夜は20～23度が適温で、10度以下の低温では生育がまったく停止し、葉が黄変、落葉してしまいます。畑に植えたが一向に伸びず、落葉、枯死するという声がよく聞かれるのは、苗が低温に遭っていたり、植えた畑が寒過ぎたりした場合が多いのです。これを水不足と勘違いして水をやり過ぎると地温がさらに下がり、過湿となり立ち枯れ病が発生したりして失敗を助長してしまいます。

育て方のポイントは、苗は3号ポリ鉢に、一晩水に浸した種を4～5粒まき、20度ぐらいい加温して育てるか、市販の苗を買い求め、暖かい場所で再育苗し、十分暖かくなってから畑に植え出します。最近はずいぶん早くから店頭で苗が並びますが、買い急ぎは禁物、失敗して再び苗を求めなくてはならない状態になってしまいます。

図のように黒色ポリフィルムをマルチし、地温を上げてから植えることをお勧めします。

オクラの育ちをよく見ると、初期には枝分かれせず、1株当たりの花・果数は少ないので、それを補い、早期収量を高めるために、畑



でもプランターでも、1カ所に2株ずつ植えることを勧めます。前半は葉もあまり込み合わないのので、これでちょうど良いのです。

盛んに育ち枝が伸びだしてきたら、主枝の上の方を摘除し側枝に日を当て、健全に伸びるようにします。

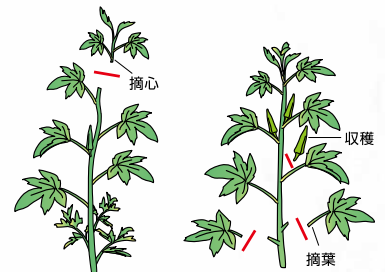
半月に1回、1株当たり小さじ1杯ぐらいい成肥料を追肥します。

近頃各地で葉を筒状に巻き食害するワタノメイガの発生が見られます。発見次第捕殺するか、適応殺虫剤を散布して防ぎましょう。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



プランターでも畑でも1カ所2株ずつ植える



株が大きく育ったら主枝を摘心し側枝を伸ばす

果実を収穫したらその下方の葉は摘み取る

## 【お詫び】

J Aしまねびより3月号家庭菜園の記事に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。「文書最後から3行目」

(誤) 特に畑が酸性気味の場合

(正) 特に畑がアルカリ性気味の場合



**出雲⇄函館 初就航 直行チャーター便で行く!!**

# 100万ドルの夜景の街 函館

## Tour 5大おすすめポイント

- 1 出雲縁結び空港より FDA チャーター便にて函館へひとつとび!!
- 2 チャーター便利用で時間のロスなく函館に移動でき、通常の定期便ツアーより函館観光をご満喫いただけます。
- 3 パリエーション豊かなコースをご用意! (片道チャーター便企画を含む全6コースをご用意しております)
- 4 全コース、世界三大夜景のひとつ「函館」夜景見学へご案内いたします。
- 5 全コース、2泊(Eコース 3泊)とも2名様より1部屋をご用意!

**地元空港～函館線の直行チャーター機利用**

通常は定期便利用で(乗継時間も含む)4～5時間かかるところ、往復とも函館まで直行チャーター機利用で楽々!! (D・E・Fコースは復路のみ利用)

【往路】約1時間45分  
【復路】約2時間

あなたの好きなまだ訪れていない旅がきっとみつかるはず!!

コース	ツアータイトル	出発日(平成30年)	旅行代金 <small>大人名1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港発着(税込)</small>
Aコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 津軽・下北みちのく二大半島めぐり (3泊)	6月3日(日)・6日(水)	139,800円
Bコース	北海道南西端に浮かぶ 奥尻島と 世界三大夜景 函館・洞爺湖・大沼 (3泊)	6月 3日(日)	139,800円
Cコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 北海道の名湯 登別温泉 (3泊)	6月 6日(水)	129,800円
Dコース	東北縦断 中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (3泊)	5月31日(木)	139,800円
Eコース	東北縦断 松島・中尊寺・十和田・奥入瀬と 世界三大夜景 函館・湯の川温泉 (4泊)	5月30日(水)	159,800円
Fコース	世界三大夜景 函館・湯の川温泉と 札幌・小樽・洞爺湖 (3泊)	5月31日(木)	129,800円



掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。  
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!

**Tour** 株式会社農協観光

JAしまね 旅行センター本部 ☎0853-25-8907    JAしまね 出雲 旅行センター ☎0853-21-3305    JAしまね 島根おおち旅行センター ☎0855-83-0008  
 JAしまね やすぎ 旅行センター ☎0854-28-6699    JAしまね 斐川 旅行センター ☎0853-73-9625    JAしまね いわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820  
 JAしまね 雲南 旅行センター ☎0854-42-9118    JAしまね 石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501    JAしまね 西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

JA女性組織フレッシュミズ・JA全農 コラボ企画

# エコープ ほめられ酢

- ✓ 万能酢なのでこれ1本で和洋中が簡単に!
- ✓ 柔らかな酸味で後味さわやか!
- ✓ お子様も食べやすく安心!
- ✓ 国産原料にこだわり、最優先に使用!
- ✓ 手軽に使える手持ちサイズ、使い切りにいい300ml!
- ✓ 食卓において毎日の料理にプラスワン!

## 【フレッシュミズの思いをのせて】

フレッシュミズ開発担当者と全農が開発協議を重ね「小さなお子様やお酢が苦手な人にも食べやすい商品にしたい」「国産原料、アレルギー物質等にこだわり安心できる商品にしたい」との思いが商品になりました。

本商品は、第63回JA全国女性大会(30年1月24日開催)において、全国の女性組織の皆様へ盛大なお披露目が行われ、会場では「簡単、便利でネーミングのとおり“ほめられる”お酢だね」など、好評をいただきました。

簡単! 便利!  
ほめられ酢!



レシピ  
WEB公開中!

商品はくらしの宅配便やお近くのAコープ、JA 購買店舗、直売所にてお買い求めいただけます。

## さくら餅



薄く生地を焼くのがポイントです。桜の葉を巻いたら市販の桜餅にも負けない出来上がりです。

## ●材料 (10個)

米粉……………	60g	サラダ油……………	少々
白玉粉……………	30g	こしあん……………	200g
水……………	150cc	桜の葉塩漬け……………	10枚
砂糖……………	40g		
食紅……………	少々		

## ●作り方

- ①こしあんは一口大に10個まるめておく。
- ②ボールに米粉、白玉粉、砂糖、水を入れダマがなくなるまで混ぜる。
- ③水で溶いた食紅を少し入れる。
- ④フライパンに油をひき③を薄く楕円形になるように流し入れる。
- ⑤裏側が焼けたら竹具しか爪楊枝でひっくり返す。
- ⑥フライパンから出し、きれいな面を外側にして、こしあんを包み塩抜きした桜の葉で包む。

## たけのこの味噌チーズ焼き 3種味



たけのことチーズは相性抜群です。和食に使うことが多いたけのこ、洋風にしてもおいしいですよ。とろけるチーズの上に好きな物をかけていろいろアレンジを楽しんでみてください。

## ●材料 (4人分)

たけのこ……………	250g	A 七味唐辛子……………	適量
〔味噌……………〕	小さじ2	B 木の芽……………	
〔砂糖……………〕	小さじ1	C ごま……………	少々
とろけるチーズ……………	適量		

## ●作り方

- ①たけのこを茹でる。または水煮のたけのこを準備する。たけのこを味噌、チーズを乗せやすい大きさに切る。
- ②味噌と砂糖をよく混ぜる。
- ③たけのこの上に砂糖を混ぜた味噌を、薄くまんべんなく塗る。
- ④③にとろけるチーズを乗せる。
- ⑤たけのこをオーブントースターまたはグリルに入れ、およそ5~7分程度焼く。
- ⑥仕上げにAの七味唐辛子又は、Bの木の芽、Cのごまをそれぞれふる。

## 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、安来市にある中海干拓安来干拓地から望む早春の大山です。安来干拓地(約128ha)は、農林水産省が昭和38年から進めてきた中海干拓事業により、米子湾の一部を干陸して造成された干拓地であり、大規模な畑作営農が展開されています。主な農産物はキャベツ、ブロッコリー、いちご、トマト等です。また、古来より山岳信仰が盛んな大山は、今年、開山1300年を迎えます。山麓には西日本最大級のブナの原生林が広がり、降り注ぐ雨や雪は、ゆっくりと地面を伝い、生命の水となって流れていきます。

## 編集後記

シュンランとの出会いは、約40年前、日原町農協婦人部の総会の場でした。数日後、我が家の雑木林を探すと人知れず凍と咲いており、とても感動的でした。野に山に出かけやすい季節となりました。忙しいからこそ、自然の恵みに感謝しながら、心豊かに過ごしたいものです。(星)



## 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

